

令和2年度日本NGO連携無償資金協力署名式典

公益財団法人 国際開発救援財団 (FIDR)
「クラチェ州における小児外科診療体制強化事業 (第2年次)」

特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan)
「モデル地域での実践強化および評価制度の確立を通じた、障がい児のためのインクルーシブ教育普及事業 (第2年次)」

令和2年12月14日(月)、令和2年度日本NGO連携無償資金協力に係る署名式典を当館多目的ホールにて執り行いました。同署名式では、三上正裕特命全権大使が(公財)国際開発救援財団(FIDR)の佐伯風土カンボジア事務所長との間で「クラチェ州における小児外科診療体制強化事業(第2年次)」(供与限度額694,539米ドル)について、(特活)難民を助ける会(AAR)の向井郷美カンボジア駐在代表代行との間で「モデル地域での実践強化および評価制度の確立を通じた、障がい児のためのインクルーシブ教育普及事業(第2年次)」(供与限度額273,851米ドル)についてそれぞれの贈与契約書に署名を行いました。

(公財)国際開発救援財団は、クラチェ州において小児外科診療体制の強化を目的とした医療スタッフへの研修の実施やチーム医療を通じた診療能力向上を図るために外科棟建設に取り組みます。同団体はプノンペン都の国立小児病院を拠点に小児外科に携わる医療人材の育成及び診療環境の改善に20年間にわたり取り組んできた実績があり、その経験及び育成した人材を活用し、地方での小児外科患者の早期発見及び早期治療が可能な小児外科診療体制の構築が期待されます。



FIDR カンボジア事務所長との署名の様子

(特活)難民を助ける会は、2013年からカンダール州クサイ・カンダール郡において、障がいの有無にかかわらず子どもたちが共に学ぶことを目指す「インクルーシブ教育」の推進事業を実施してきました。今回の事業では、インクルーシブ教育の更なる国内普及を目指し、障害児を教える教員に対する日常的な支援体制の



AAR カンボジア駐在代表代行との署名の様子

構築や、インクルーシブ教育評価制度の策定に取り組みます。本事業を通じて、カンボジアの人々がインクルーシブ教育の価値をより良く理解し、障害を持つ子どもたちの学習環境が改善されるとともに、本事業の取り組みがカンボジア全国に普及されることが期待されます。

同式典では、三上大使がスピーチを行い、今回の支援が対象地域の人々に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好促進につながることを願うと述べました。続いて（公財）国際開発救援財団（FIDR）の佐伯風土カンボジア事務所長と（（特活）難民を助ける会の向井郷美カンボジア駐在代表代行が、日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、着実に事業を推進していくことを約束しました。



三上大使によるスピーチの様子

令和2年度 日本NGO連携無償資金協力

贈与契約署名式典 三上大使スピーチ

2020年12月14日（月） 於：日本国大使館多目的ホール

公益財団法人 国際開発救援財団（FIDR）

「クラチェ州における小児外科診療体制強化事業（第2年次）」

特定非営利活動法人 難民を助ける会（AAR Japan）

「モデル地域での実践強化および評価制度の確立を通じた、障がい児のためのインクルーシブ教育普及事業（第2年次）」

- 公益財団法人 国際開発救援財団
カンボジア事務所長 佐伯 風土様
- 特定非営利活動法人 難民を助ける会
カンボジア駐在代表代行 向井 郷美様
- 御列席の皆様

本日、日本NGO連携無償資金協力案件に係る署名式典を開催できることを大変嬉しく思います。

日本NGO連携無償資金協力は、日本政府が日本の国際協力NGOに対して、開発途上国・地域で実施する経済社会開発事業を支援する制度として2002年から始まりました。カンボジアでは、2002年から現在まで120を超えるプロジェクトを支援してまいりました。それぞれのプロジェクトが、カンボジアの方々の生活の質の向上へ貢献されていらっしゃいます。

本日署名された事業についてご紹介致します。

まず、「国際開発救援財団」が実施する事業に対しては、今回、日本政府から約69万米ドルを供与いたします。同団体は1996年からカンボジアにおいて国立小児病院における小児外科体制の確立を目指した取り組みを行われており、2017年からはクラチェ州に拠点を移され北東部地域の医療改善に取り組まれています。これまでのご活動に対して敬意を表します。同団体はクラチェ州において、小児外科診療体制の強化を目的とした医療スタッフ及び保健ボランティアへの研修の実施を引き続き行います。本年度から密接なチーム医療を通じた診療能力向上を図るため外科棟の建設にも取り組みます。本事業を通じて、小児外科患者の早期発見及び治療が可能になり、地域の子どもの健康増進に繋がることを期待しております。

次に、「難民を助ける会」が実施する事業に対しては、今回、日本政府より約27万米ドルを供与いたします。同団体は1992年からカンボジアにおいて障がい者の支援を行われており、2013年からは障がい児に対する教育支援に取り組まれています。地域住民や教育行政とともに障がい児を取り巻く環境の整備に尽力する姿勢に敬意を表します。同団体は、障がいの有無にかかわらず子どもたちが共に学ぶことを目指す「インクルーシブ教育」の国内普及に向け、障がいを持つ子どもたちに優しい学習環境の改善に引き続き取り組みます。また、公的な組織である「障がい者支援委員会」や地域住民の能力強化を支援する活動に取り組みます。本事業を通じて、人々がインクルーシブ教育の価値をより良く理解し、本事業の取り組みがカンボジア全国に普及することを期待しております。

最後になりますが、近年、発展目覚ましいカンボジアではありますが、貧困対策、保健、教育環境を含む社会開発など、人々の生活向上のために取り組むべき課題は山積していると思います。日本としては、今後とも、国際協力NGOの皆さまと連携し、そのような課題解決のお手伝いが出来ればと考えています。

本日御出席の皆様の御健康と御多幸、両国の友好のますますの発展を祈念致します。

ありがとうございました。



EMBASSY OF JAPAN
IN THE KINGDOM OF CAMBODIA

PRESS RELEASE

No.38 PR-20/EoJ

14 December 2020

Japan Provides US\$ 968,390
For Enhancement of Pediatric Surgical Care System in Kratie Province
and Promotion of Inclusive Education in Kandal Province

The Government of Japan has agreed to provide US\$ 968,390 in total for two recipient organizations under the framework, *The Grant Assistance for Japanese NGO Projects*. The Grant Contract has signed today between H.E. Mr. MIKAMI Masahiro, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to the Kingdom of Cambodia, and the representatives of the two recipients respectively, to carry out the following projects:

1. ‘ Project for Enhancing Medical System to Practice Pediatric Surgery in Kratie Province (Year 2) ’ (US\$694,539)

Recipient: Foundation for International Development/Relief (FIDR)

In this project, FIDR aims to enhance the pediatric surgical care system in Kratie province through trainings for medical staff of Provincial Referral Hospital, health centers, and health village volunteers in the province. In order to improve quality of their services and create a safe medical facility, the organization will also construct a surgical building for patients, especially for pediatric patients including new-born patients.

2. ‘Project for Promotion of Inclusive Education (IE) for Children with Disabilities by Enhancing the Practices in Model Area and Developing IE Evaluation System (Year 2) ’ (US\$273,851)

Recipient: Association for Aid and Relief, Japan (AAR Japan)

In this project, AAR Japan will create an evaluation tool of Inclusive Education practice, and carry out activities to support capacity building of the ‘Commune Committee for Persons with Disabilities’. Through this project, learning environment and quality of education for children with disabilities in the whole of Cambodia will be improved.

The Grant Assistance for Japanese NGO Projects started in Cambodia in 2002 to support activities by Japanese NGOs to help Cambodia's reconstruction and development efforts at the grassroots level. Since 2002, the Government of Japan has provided over US\$41 million for 130 projects, mainly in the field of primary education, health, agriculture and mine clearance in Cambodia.

Embassy of Japan in the Kingdom of Cambodia

Tel: 023-217-161, fax: 023-214-330

Email: eco.jpn@pp.mofa.go.jp

Website: <http://www.kh.emb-japan.go.jp>